



# ロンドン日本人学校だより 2

## 『時を守り、場を清め、礼をつくす』有終の美

校長 佐藤 雅彦

2月は昔から「如月（きさらぎ）」と言われます。その由来は諸説ありますが、まだまだ寒さが厳しい時期のために、更に衣を重ね着するという意味から「衣更着（きさらぎ）」になったという説が最も有力とされています。また、「如月」には寒い冬が終わり、春に向かって万物が動き始める時期という意味もあるということです。そして、2月は逃げるといわれるように、日数も短く、卒業や進級に向けた校内行事も多く予定され、あっという間に過ぎると感じ取られています。さらに、3月は去ると言われる位に早く感じ、次へのステップへ進んでいきます。令和5年度が素晴らしいスタートとなるためには、この2月、3月の家庭や学校での過ごし方が大切です。

そこで、子どもたちには、年度末であるこの時期、次の3つを意識してほしいと考えています。

1つ目は、「時を守る」ということです。時を守るということは、遅刻をしない、授業に遅れない、提出物の期限を守るなど、決められた時間やルールを守ることです。さらに、それだけでなく、規則正しい生活を心がけるということです。起きる時間、寝る時間、勉強する時間、趣味にいそしむ時間、ゲームをする時間などを定め、だらだらとした生活をしないで規則正しい生活をしましょうということです。自分自身の人間力を高めるということは、こういうところから始まります。

2つ目は、「場を清める」ということです。場を清めるということは、自分自身が使用する場所を、心をこめて掃除しましょうということです。それは、家庭生活においても同様です。後片付け・整理整頓をしっかりできるようにご家庭でも助言願います。

3つ目は、「礼をつくす」ということです。礼をつくすということは、気持ちのよい挨拶、「はい」という返事、丁寧な言葉遣いをしましょうということです。礼をつくすことで、児童・生徒個々の温かい人間関係が広がっていくはずで

ロンドン日本人学校の児童生徒全員が「時を守り、場を清め、礼をつくす」を実践することで、心豊かにたくましく国際社会を生きぬく力を育む、さらに素晴らしい学校になることができると考えています。

## 職場体験から考える

1月19日、20日の2日間、中学部2年生が、学校近辺及びロンドン市内の企業様・事業所様14ヶ所のご協力を得て職場体験学習を実施しました。変化の激しい先行き不透明な現代社会において、働く人と直に接して実際の知識や技術・技能に触れることは、学ぶこと・働くことの意味を理解するうえで大変重要な機会です。コロナ禍が完全には収束していないにもかかわらず、子どもたちの学ぶ機会を提供していただきました事業所並びに関係者の方々に心より御礼申し上げます。

「何のために働くのか」、内閣府が実施した令和3年度「世論調査」によりますと、「働く目的は何か」という質問項目に対して、「お金を得るために働く」の回答が61.1%、次いで「生きがいを見つけるために働く」が13.9%、「社会の一員としての務めを果たすために働く」が12.1%で上位を占めました。社会的自立のために自らの収入を生活基盤として、職場の仲間と円滑な人間関係を築き、与えられた職責を果たすことは、すべての国民の務めでもあります。しかしながら、働くことの対価として収入を得ることは、決して楽なことではありません。毎日働くということは、精神的に苦しいことがあったり、肉体的にきつい仕事であったり、時には残業で遅くまで仕事をしなければならなくなったりすることもあります。安定した収入を得るためには、これらの困難を上手に乗り越え、または解決して働き続けることが条件となります。そのためにも、社会に出るまでの時期に、物事をやり遂げる責任感やその場の感情に流されない忍耐力、他者と適度な距離間で付き合う

人間関係調整力などを身につけ、素直な心、前向きな心、強い心を持った社会人となるための基礎を学んでいくことが肝要なのだと思います。

言うまでもなく、学校は、大人になるための準備をするところです。毎日の学校生活を将来の社会生活と置き換えれば、日々自分の身の回りに起こるすべての出来事や経験がこれからの人生の糧になるはずです。「働き方は生き方である」とも言われます。子どもたちのみならず、私たち大人も、自分の10年後や20年後の姿を想像し、今をどう過ごすべきかを考えてみるのが大切なのだと改めて考えます。

## 英語教育のさらなる推進

小学校の新しい学習指導要領が2020年4月からスタートして、まもなく3年が経過しようとしています。現行学習指導要領の特色として、小学校3、4年生での週に1時間の「外国語活動」において、英語でのあいさつや身近な会話などに慣れ親しみ、相

手の話す表現を聞き、まねて話したり答えたりする活動が位置づけられました。さらに、5年生からは「教科」として、週に2時間の英語授業が行われています。「聞く」「話す」のレベルアップとともに、「読む」「書く」の学習活動も盛り込まれていますが、中学校のように綴りを覚えて書いたり、文法を詳しく学んだりといった授業ではなく、コミュニケーションの中で表現を体得していく内容が中心です。

そして、ロンドン日本人学校では、小学部全ての学年で週3時間の「英語・英会話」の時間が位置付けられ、将来多様な人々と関わるうえで必要になる英語コミュニケーション能力を、小学校低学年の段階からしっかりと学んでいます。さらに、本校では英語教育のさらなる推進をめざした取り組みを始めています。その一環として、年度末に実施している小学部対象到達度テストの結果について、4技能3観点(Reading and Writing, Listening, Speaking)別に、児童一人一人の学習状況等をより具体的にお知らせする予定です。

# 現行学習指導要領のめざすもの



### ※英会話講師の離任と着任について

長年ご勤務いただきました Ms. Pelissa Alessandra (ペリサ・アレクサンドラ先生) が、2月10日をもって離任なさいます。

そして新たに、Ms. Harjeet Kaur (ハージート・コアー先生) が、本日2月1日に着任しました。

[ロンドン日本人学校公式 Blog](#)

ロンドン日本人学校の“今”を伝える  
公式 blog を御覧ください。

